

【第1回】資産形成の出発点

——生活設計と家計管理から始めるお金の整理

将来に向けてお金を増やしたいと考えるとき、多くの方が投資商品や利回りに目を向けがちです。しかし、本来の資産形成は何に投資するかよりも前に、「生活設計を描き、家計を把握すること」から始まります。

生活設計(ライフプランニング)とは、将来どんな人生を送りたいかを構想することです。そうすると、「今の生活」だけでなく、「未来の自分」にもお金が必要になることが分かってきます。教育費・住宅資金・老後資金といったライフイベントにどれくらいの費用がかかるか、病気や災害などの想定外の支出にどう備えるかをイメージしましょう。

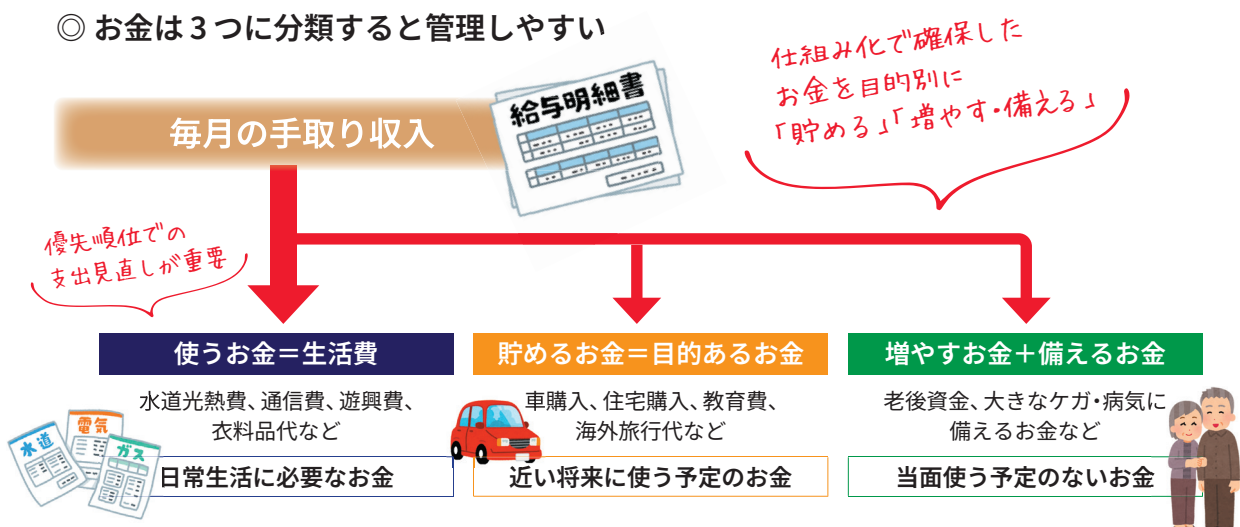
次に、こうした将来の費用を計画的に準備するために、「家計を把握・管理」します。まず重要なのが、収入と支出を把握し、収支をバランスさせることです。毎月どのくらいの収入があり、生活費や固定費、趣味・交際費などにどのくらい使っているの

かを整理することで、家計の全体像が見えてきます。細かく記録すること自体が目的ではなく、支出の内容を把握し、「真に必要なもの」を優先していくことが、支出を見直す出発点です。

そして、自分のお金を「使う」「貯める」「増やす・備える」の3つに整理しましょう。すなわち、①日常生活に必要なお金(生活費)を管理しながら、②近い将来に使う予定のお金、③当面使う予定のないお金をそれぞれ準備していく「仕組み」をつくるのが、無理のない資産形成の前提です。こうした整理が不十分なまま投資を始めると、思わぬ出費に対応できず、急ぎょ運用商品を売却・現金化せざるを得ないといったリスクが高まります。まずは家計の全体像を「見える化」し、資産形成に回せる余裕資金を把握しましょう。

このように、資産形成は、家計と切り離された特別な行為ではなく、日々の暮らしや将来の夢の延長線上で考えるものといえるでしょう。

◎ お金は3つに分類すると管理しやすい



J-FLECのホームページでは、皆さんの生活に役立つ、お金に関するさまざまな情報を掲載しています。

<https://www.j-flec.go.jp/>

J-FLEC

検索

